

トイレ		利用者状態像				
トイレ動作	アセスメントポイント	歩行自立	杖使用	いさり	車いす使用	
		1)2)3)4)	1)2)3)	1)2)3)4)	自立 1)2)3)4)5)6)	要介助 1)2)3)4)5)6)7)
1. トイレまでの移動	1 居室から安全に移動することができるか	1) 移動の距離 2) 明るさ(足元が確認できる程度の明るさが確保されているか) 3) 温度変化(急激な温度変化等ないか) 4) 移動動線への配慮(障害物等の除去がなされているか)	1)2)3)4)	1)2)3)4)	1)2)3)4) 5) 車いす対応のための幅員の確保	1)2)3)4) 6) 介護者への配慮
2. 扉の開閉	1 扉の開閉のしやすさ	1) 軽い力で簡単に開閉することができるか 2) 扉の形状(ドアノブ等の扱いのしやすさ) 3) 握力の弱い利用者への配慮(握り易く、力が入りやすいか)	1)2)3)	1)2)3) 4) 床面からの立ち上がりへの配慮	1)2)3) 5) 車いす利用者でも開閉可能か 6) 開閉した扉が適切に留まっているか(戻ってきてしまわないか)	1)2)3)5)6) 7) 介護者への配慮
	2 扉開閉時の動作の安定性	1) 扉開閉時の立位バランスの安定性 2) つかまるところが確保されているか	1)2)	1)2)3)	1)2)3) 4) 無理な体制での開閉動作になっていないか	1)2)3)4) 5) 介護者への配慮
	3 出入りにおける動作の安定性	1) 段差等の転倒につながる要因の除去 2) つかまるところが確保されているか	1)2)	1)2)	1)2) 3) 車いすにて出入り可能な幅が確保されているか 4) 車いすにて出入り可能な構造であるか	1)2)3)4) 5) 出入りにおける介護者への負担はないか
	4 トイレ出入り口部分及び室内の明るさは十分か	1) トイレ扉周辺の様子が十分に確認できる程度の明るさが確保されているか 2) トイレ内の明るさは十分であるか	1)2)	1)2)	1)2)	1)2) 3) 介護者への配慮
	5 スイッチパネルの操作しやすさ	1) 点灯・消灯スイッチは簡単に操作できるか 2) スイッチの位置は適切か	1)2)	1)2)	1)2) 3) 車いすの利用者の高さに配慮されているか	1)2)3) 4) 介護者への配慮
3. トイレ便器までの移動	1 トイレ便座までのアプローチにおける移動の安定性	1) 段差等の転倒につながる要因の除去 2) つかまるところが確保されているか	1)2)	1)2)	1)2) 3) 車いすのまま便器まで近づくことができるか 4) 適切な方向から車いすで近づけることができるか 5) 便座に簡単に近づくことができるか 6) 車いす操作スペースが確保可能か	1)2)3)4)5)6) 7) 車いすを操作する上での不都合はないか 8) 介護者への配慮
	2 スリッパの履き替えにおける安定性	1) 動作そのものの安全性の確認及び見直しの可能性	1)	1)	1)	1) 2) 介護者への配慮
4. 方向転換(便座へ遷るための準備)	1 トイレ便座に近づき身体の向きを換える方向転換の動作における安定性	1) 動作そのものの安全性の確認 2) つかまるところが確保されているか	1)2)	1)2)	1)2) 3) 車いすからの立ち上がりへの配慮 4) 座位から立位への動作をスムーズに行なうことができるよう配慮されているか 5) 移乗動作への配慮がなされているか	1)2)3)4)5) 6) 介護者への配慮
	2 向きを換える方向	1) 方向転換しやすい方向からのトイレ便座へのアプローチがなされているか	1)	1)	1)	1) 2) 介護者への配慮
	3 便座の開閉動作	1) 便座開閉の確認 2) 便座開閉の動作の安定性	1)2)	1)2)	1)2)	1)2) 3) 介護者への配慮
5. 衣類の上げ下げ	1 立位保持の安定性	1) 立位保持の安定性 2) 立位保持場面での動作の安定性(立位での動作が安全に行なうことができるか)	1)2)	1)2)	1)2)	1)2) 3) 介護者への配慮
	2 立位保持時につかまるところがあるか	1) 高さ・位置・長さ等は適切か 2) 握りやすさ 3) 動作を補助する役目として適切か	1)2)3)	1)2)3)	1)2)3)	1)2)3) 4) 介護者への配慮
	3 衣類上げ下げの動作場面における安定性	1) 衣類の上げ下げにおいて立位が安定的に保持できているか 2) 上げ下げにおいて問題は見られないか 3) 片手動作に対応した衣類が検討されているか	1)2)3)	1)2)3)	1)2)3)	1)2)3) 4) 介護者への配慮
6. 座る	1 スムースな座位姿勢への移行(危険なく便座に膝を下ろすことができるか)	1) 安全にゆっくりと便座に膝を下ろすことができるか 2) 適切な距離にて膝を下ろすことができるか 3) 膝を下ろす際に十分に後方・周囲の確認ができているか	1)2)3)	1)2)3)	1)2)3)	1)2)3) 4) 介護者への配慮
	2 座り直すことがきちんとできるか	1) 適切な座位姿勢に座り直すことができるか	1)	1)	1)	1) 2) 介護者への配慮
7. 座位保持	1 座位保持能力	1) 座位保持が安定的に可能であるか	1)	1)	1)	1) 2) 介護者への配慮
	2 つかまることで座位の安定性が図られるか	1) 座位保持困難である場合、配慮がなされているか	1)	1)	1)	1) 2) 介護者への配慮
8. 排泄後の後始末	1 トイレトペーパー等の準備に問題はないか	1) 排泄後の後始末における自立度 2) 片手動作に配慮されているか(片手にて簡単にトイレトペーパーを切り取ることができるか等)	1)2)	1)2)	1)2)	1)2) 3) 介護者への配慮
	2 排泄後の後始末に問題はないか	1) 失敗することなく行なえているか 2) その他問題はありますか	1)2)	1)2)	1)2)	1)2) 3) 介護者への配慮
	3 使用後、トイレを流す行為において問題はないか	1) トイレを流す行為において問題はないか 2) 水流のための金具の位置に問題はないか 3) 麻痺を有する利用者への配慮がなされているか	1)2)3)	1)2)3)	1)2)3)	1)2)3) 4) 介護者への配慮
	4 尿取りパット等の使用後の後始末における問題はないか	1) 使用後の後始末への配慮がなされているか 2) 尿取りパット等の適切に準備がなされているか 3) 尿取りパットが適切に使用できているか	1)2)3)	1)2)3)	1)2)	1)2) 3) 介護者への配慮

身体特性別空間

トイレ	トイレ動作	アセスメントポイント	利用者状態像					
			利用自立	杖使用	いざり	車いす使用		
			要介助					
9. 立ち上がり	便座からの立ち上がり（ヌグき） 1 ムースに立ち上がる（ヌグき）	便座からの立ち上がり（ヌグき） 1 ムースに立ち上がる（ヌグき）	1) 立ち上がりに不安定さがないか	1) 2)		1) 2) 3)	4) 介護者への配慮	
			2) 立ち上がりにおける問題はどの部分で発生しているか					
			1) 立ち上りを補助する手すり 2) 効果的な手すりの取り付け位置と高さの確認 3) 手すりの素材（握りやすさと、太さ、触り心地等）	1) 2) 3)	1) 2) 3)	1) 2)	1) 2) 3)	3) 介護者への配慮
10. 衣類の上げ下げ	5 と同様	5 と同様				1) 2) 3)	4) 介護者への配慮 6) 介護者への配慮	
			1) 手洗いまでの移動の動線 2) 手洗いの高さ 3) 洗面台の形状（周囲に水が飛び散りにくいもの） 4) 立位保持への配慮がなされているか 5) 手ふきタオルの位置	1) 2) 3) 4) 5)	1) 2) 3) 4) 5)	1) 2) 3) 4) 5)	1) 2) 3)	1) 2) 3) 4) 5)
11. 手洗い	1 手洗い 2 水栓金具の取り扱いやすさ	1 手洗いの位置及びその使い勝手 2 水栓金具の取り扱いやすさ	1) 出水・止水の簡便性	1)	1)	1)	1) 2) 介護者への配慮	
12. 移動	3 と同様	3 と同様						
13. 扉の開閉	2 と同様	2 と同様						
14. 介助者への配慮	1 介助スペースが確保されているか 2 汚物処理等への配慮 3 掃除のしやすさ	1 介助スペースが確保されているか 2 汚物処理等への配慮 3 掃除のしやすさ	1) 介助必要時に対応可能なよう なスペースが確保されているか	1)	1)	1)	1) 介護者への配慮（介護者の使い勝手） 2) 介護者への配慮がなされているか	
			1) 汚物処理及びその他用具使用時における使い勝手への配慮 2) 必要用具の準備と片付け	1) 2)	1) 2)	1) 2)	1) 2) 介護者への配慮 3) 介護者への配慮 4) 介護者への配慮	
			1) 汚れがつきにくく、掃除が簡便であること 1) トイレ内の温度への配慮がなされているか 2) 便座が冷たくないか	1) 2)	1) 2)	1) 2)	1) 2) 介護者への配慮 3) 介護者への配慮	
15. その他	1 配慮 2 他家族への配慮 3 費用	1 トイレ内及び便座の温度への配慮 2 他家族への配慮 3 費用	1) 改修による他の家族への影響の検討	1)	1)	1)	1) 介護者への配慮	
			1) 程度内での対応可能か検討がなされているか 2) 利用者の経済状況との検討がなされているか 3) 自己負担額の説明がなされているか	1) 2) 3)	1) 2) 3)	1) 2) 3)	1) 2) 3)	
			1) 適切な説明がなされたか 2) 利用者及び家族の理解と同意が得られているか 3) 家族の意向確認がなされているか	1) 2) 3)	1) 2) 3)	1) 2) 3)	1) 2) 3)	
4 説明								

入浴動作	アセスメントポイント (視点)			利用者状態個別具体的なチェック項目				
	利用者	居住構造等	介護	歩行自立	杖歩行	いざり	車いす	要介助
1 浴室までの移動	1) 歩行の安定性	1) 移動を助けるような構造上の問題点はないか	1) 移動における介助の必要性の評価	1 浴室までの移動の安全性が確保されているか	1 ①浴室までの移動の安全性が確保されているか ②杖代わりとなる手すり等つかまるところが確保されているか ③動作の連続性に配慮されているか	1 浴室までの移動方法の確認	1 ①車いすでの移動が可能であるのか ②車いす操作に影響を及ぼす住環境上の問題の有無	1 ①車いすでの移動が可能であるのか ②車いす操作に影響を及ぼす住環境上の問題の有無 ③介護者の負担への配慮
	2) 安全確認における認知度	2) 移動距離	2) 移動における介護者への負担				2 車いすでの出入りが可能な有効幅員の確保と段差解消がなされているか	2 車いすでの出入りが可能な有効幅員の確保と段差解消がなされているか
		3) 脱衣所出入口の段差の有無及び構造					3 ①車いす操作のためのスペースが確保可能であるか ②車いすでの出入りが可能な有効幅員の確保と段差解消の実施	3 ①車いす操作のためのスペースが確保可能であるか ②車いすでの出入りが可能な有効幅員の確保と段差解消の実施
2 衣類の着脱(脱衣)	1) 衣類の着脱における自立度	1) 脱衣所の広さ	1) 介助の必要性	1 着脱における自立度	1 着脱における自立度	1 着脱における自立度	1 着脱における自立度	1 着脱における自立度
	2) 衣類管理(衣類準備、認知能力等)	2) 脱衣所の温度(保温性)	2) 介護者の負担	2 立位保持への配慮	2 立位保持への配慮	2 立ち上がり及び立位保持動作への配慮	2 立ち上がり及び立位保持動作への配慮	2 立ち上がり及び立位保持動作への配慮
	3) 着脱動作場面における立位の安定性	3) 脱着のしやすい衣類であるか					3 介護者の負担への配慮	3 介護者の負担への配慮
3 洗面スペース	1) 保清に関する理解力・認知力	1) 洗面スペース ①広さ(腰を下ろして作業できるスペース及び介助スペースが確保できるか) ②出入口の有効幅員 ③明るさ ④温度(保温性)	1) 介助の必要性	1 ①段差の解消 ②立位保持への配慮	1 ①段差の解消 ②立位保持への配慮	1 洗面スペースまでの移動方法の検討	1 ①車いすで近づくことができること(アームレストがぶつからない構造のものであるか) ②車いすに適した高さであるか(肘に水がまわらないよう配慮する) ③水栓金具の位置は適切であるか	1 ①車いすで近づくことができること(アームレストがぶつからない構造のものであるか) ②車いすに適した高さであるか(肘に水がまわらないよう配慮する) ③水栓金具の位置は適切であるか
	2) 保清(洗顔、歯磨き、身だしなみを整える等)における自立度	2) 床材 ①滑りにくいものであるか、濡れても滑りにくいものであるか ②傷がつきにくいものであるか ③掃除が簡単であるか	2) 介助を必要とする部分に関する介助方法の検討	2 ①濡れても滑りにくい素材であること ②触り心地が冷たい感触の少ないものであること	2 ①濡れても滑りにくい素材であること ②触り心地が冷たい感触の少ないものであること	2 安全な洗面動作の検討(どのように洗面動作を行なうか、立位または座位での検討)	2 車いすの操作性への配慮	2 車いすの操作性への配慮
		3) 洗面台 ①高さ(利用者の使い勝手に配慮した高さであるか) ②作業するためのスペースが確保されているか ③手の届く範囲に収納スペースがあるか ④水栓金具の操作性(吐水・止水が簡単にできるか、蛇口の位置) ⑤鏡(曇りにくいもの、見やすい大きさ、明るさ、防湿性、耐酸性)	3) 介護者の負担	3 ①洗面台作業中の立位保持への配慮(つかまると、または寄りかかっている作業を可能とするように配慮する) ②必要に応じて座位での作業の検討 ③作業の効率化(手の届く範囲の収納スペース、作業スペースの確保等)	3 ①洗面台作業中の立位保持への配慮(つかまると、または寄りかかっている作業を可能とするように配慮する) ②必要に応じて座位での作業の検討 ③作業の効率化(手の届く範囲の収納スペース、作業スペースの確保等)	3 ①洗面台作業中の立位保持への配慮(つかまると、または寄りかかっている作業を可能とするように配慮する) ②必要に応じて座位での作業の検討 ③作業の効率化(手の届く範囲の収納スペース、作業スペースの確保等)	3 介護者への配慮	3 介護者への配慮
4 扉の開閉	1) 立位の安定性	1) 浴室扉の開閉のしやすさ	1) 介助の必要性	1 扉の開閉動作を安定して行なうことができるか	1 扉の開閉動作を安定して行なうことができるか	1 扉の開閉動作を誰が、どのように行なうか確認する	1 扉の開閉動作を誰が、どのように行なうか確認する	1 介護者の負担への配慮
	2) 上肢機能(握力、物をつかむこと、横に引くこと)	2) 扉の構造 ①開口有効幅員 ②開閉方法・方向 ③扉の重量 ④扉の構造 ⑤扉開閉のためのドアノブ等の形状 ⑥扉の素材(ぶつかった際に傷れにくいもの) ⑦緊急時の対応(外側からの開閉が可能なもの)	2) 介護者への負担	2 扉の開閉を小さな力で簡単にできるか	2 ①扉の開閉を小さな力で簡単にできるか ②扉側の動作への配慮(行き帰りの動作の方向の配慮)		2 利用者の安全確保(介護者が他の動作を行なっている際に安全に待機していることができるか)	
		3) 明るさ ①室内の明るさは十分であるか ②色彩(段差等わかりやすいか)	3) 他家族の使い勝手に対する影響					
		4) スイッチ類の扱いやすさ						

入浴動作	アセスメントポイント (視点)			利用者状態像別具体的なチェック項目					
	利用者	居住構造等	介護	歩行自立			車いす		
				歩行自立	杖歩行	いざり	自立	要介助	
		5) 変更の可能性 ①改善の可能性の検討 ②改善による影響 6) 住環境改善による影響 ①他の動作の妨げになることがないか ②改善により期待される効果							
5 浴室出入り	1) 段差昇降における能力 2) 浴室出入りにおける現状動作の確認及び問題点 3) 上肢機能(握力、物をつかむこと、横に引くこと)	1) 出入口の形状 ①段差の有無 ②浴室及び脱衣所の床材の状態 ③扉開閉レール溝の状態 ④有効幅員 ⑤出入口周辺の状況 ⑥排水への配慮(排水溝の位置、グレーチング、水はけ及び湯水の流出) ⑦水勾配(水勾配の方向) 2) 出入口付近におけるつかまるところの確保点 3) 変更による影響 ①改善の可能性の検討 ②改善により期待される効果とその影響	1) 介助の必要性 2) 介護者への負担 3) 他家族への影響	1 立位保持への配慮 (立位保持を安定させる手すり等の位置(高さ)の確認) 2 手すりの設置箇所(片麻痺の利用者の場合、出入りにおいて、必要とされる手すり位置の検討、移動の動線に配慮した手すりの位置の検討) 3 段差解消 ①浴室出入り及び浴室内で移動に配慮した段差解消の検討 ②排水(水はけ)への配慮(排水溝の位置、湯水の流れへの配慮、水勾配の方向、将来への配慮等) 4 必要最低限の改善方法の検討	1 立位保持への配慮 (立位保持を安定させる手すり等の位置(高さ)の確認) 2 手すりの設置箇所(片麻痺の利用者の場合、出入りにおいて、必要とされる手すり位置の検討、移動の動線に配慮した手すりの位置の検討) 3 段差解消 ①浴室出入り及び浴室内で移動に配慮した段差解消の検討 ②排水(水はけ)への配慮(排水溝の位置、湯水の流れへの配慮、水勾配の方向、将来への配慮等) 4 必要最低限の改善方法の検討	1 立位保持への配慮 (立位保持を安定させる手すり等の位置(高さ)の確認) 2 手すりの設置箇所(片麻痺の利用者の場合、出入りにおいて、必要とされる手すり位置の検討、移動の動線に配慮した手すりの位置の検討) 3 段差解消 ①浴室出入り及び浴室内で移動に配慮した段差解消の検討 ②排水(水はけ)への配慮(排水溝の位置、湯水の流れへの配慮、水勾配の方向、将来への配慮等) 4 必要最低限の改善方法の検討	1 移乗動作への配慮 (どの時点で安全に車いすから浴用いすへ移乗するか) 2 立位保持への配慮 (立位保持を安定させる手すり等の位置(高さ)の確認) 3 手すりの設置箇所(片麻痺の利用者の場合、出入りにおいて、必要とされる手すり位置の検討、移動の動線に配慮した手すりの位置の検討) 4 段差解消 ①浴室出入り及び浴室内で移動に配慮した段差解消の検討 ②排水(水はけ)への配慮(排水溝の位置、湯水の流れへの配慮、水勾配の方向、将来への配慮等) 5 車いす使用に配慮されているか(十分な開口幅が確保されているか、介助スペースは十分か) 6 必要最低限の改善方法の検討	1 移乗動作への配慮 (どの時点で安全に車いすから浴用いすへ移乗するか) 2 立位保持への配慮 (立位保持を安定させる手すり等の位置(高さ)の確認) 3 手すりの設置箇所(片麻痺の利用者の場合、出入りにおいて、必要とされる手すり位置の検討、移動の動線に配慮した手すりの位置の検討) 4 段差解消 ①浴室出入り及び浴室内で移動に配慮した段差解消の検討 ②排水(水はけ)への配慮(排水溝の位置、湯水の流れへの配慮、水勾配の方向、将来への配慮等) 5 車いす使用に配慮されているか(十分な開口幅が確保されているか、介助スペースは十分か) 6 必要最低限の改善方法の検討	
6 浴室内の移動	1) 浴室移動における現状動作の確認及び問題点 2) 歩行の安定性	1) 浴室内の状況 ①床材(濡れた時の状況) ②広さ・スペース ③温度・湿度・換気 ④明るさ(室内の明るさは十分であるか) ⑤つかまるところの有無 ⑥排水への配慮(排水溝の位置、グレーチング、水はけ及び湯水の流出) ⑦水勾配(水勾配の方向) 2) 改善の可能性 ①改善の可能性の検討 ②改善による影響 3) 福祉用具導入による影響 ①扱いやすさ ②設置・除去が簡単に行なうことができるか ③大きさ・重量 ④構造 ⑤他の動作の妨げになることがないか ⑥掃除のしやすさ ⑦安全性 ⑧耐久性 ⑨価格 ⑩改善により期待される効果 ⑪掃除・管理のしやすさ ⑫収納場所 4) 住環境改善による影響 ①他の動作の妨げになることがないか ②改善により期待される効果	1) 介助の必要性 2) 介護者への負担	1 濡れた床面での動作であることから転倒への配慮 2 浴室内の移動において安全性が確保されているか	1 濡れた床面での動作であることから転倒への配慮 2 浴室内の移動において安全性が確保されているか	1 濡れた床面での動作であることから転倒への配慮 2 浴室内の移動において安全性が確保されているか	1 安全な移動方法の検討(濡れた床及び介助しにくい状態であることへの配慮) 2 介護者の負担への配慮 3 座位バランスを保持することに対する配慮(座位保持のため、背もたれ、肘掛け等座位への配慮)	1 安全な移動方法の検討(濡れた床及び介助しにくい状態であることへの配慮) 2 介護者の負担への配慮 3 座位バランスを保持することに対する配慮(座位保持のため、背もたれ、肘掛け等座位への配慮)	

入浴動作	アセスメントポイント (視点)			利用者状態像別具体的チェック項目			車いす 自立	要介助
	利用者	居住構造等	介護	歩行自立	杖歩行	いざり		
7 いす等に座る	1) いす等へ座る動作 (いす等へ近づき、適切な距離を保ち、方向転換し、腰をゆっくり下るす動作が安全に行なうことができるか)	1) 現状におけるいす等における問題点 ①いすの形状 ②安定性 ③座り心地	1) 介助の必要性	1) 周囲の安全確認・認知能力	1) 周囲の安全確認・認知能力	1) 周囲の安全確認・認知能力		
	2) 座位保持の安定性	2) 変更の可能性 ①改善の可能性の検討 ②改善による影響	2) 介護者への負担					
		3) いす周囲に動きが取れるだけの十分なスペースが確保されているか	3) 介助スペースの確保					
		4) 浴室床材の構造 (濡れても滑りにくいもの)						
8 洗身	1) 洗身動作における自立度及び自力では困難な部分はどこであるか ①洗身の準備 ②身体を洗う(タオル等を使う、身体をくまなく洗う) ③身体を流す(シャワー、手桶等を使う)	1) シャワー等水栓金具の操作性 ①吐水・止水が簡単にできること ②他の水栓金具と吐水・止水方法をそろえる ③掬の掛かり具合 ④湯温調整(サーモスタット機能付き等湯温調整が可能なもの)	1) 介助の必要性	1) 洗身動作における自立度(自力で行なうことができる部分と介助を必要とする部分の評価、かかる時間)	1) 洗身動作における自立度(自力で行なうことができる部分と介助を必要とする部分の評価、かかる時間)	1) 洗身動作における自立度(自力で行なうことができる部分と介助を必要とする部分の評価、かかる時間)		
	2) 補助による自立の可能性	2) シャワー等水栓金具の高さ、位置	2) 介護者への負担	2) 洗身時の室温	2) 洗身時の室温	2) 洗身時の室温		
	3) 座位姿勢での動作における問題点(前傾姿勢での動作)	3) 洗面器の位置(洗面器を使用する際、置いた高さ)						
	4) 上肢機能(巧緻性、握力、物をつかむこと、引く力等)	4) 身体を流す動作(お湯の確保とその方法)						
		5) 改善の可能性 ①改善の可能性の検討 ②改善による影響						
9 洗顔	1) 洗顔動作における自立度及びその問題点 ①手洗い桶からお湯を手のひらですくい、顔へ持っていく ②石鹸等を扱う	1) 洗面器の位置(洗面器を使用する際、置いた高さ)	1) 介助の必要性					
	2) 座位姿勢での動作における問題点(前傾姿勢での動作)	2) 改善の可能性 ①改善の可能性の検討 ②改善による影響	2) 介護者への負担					
10 洗髪	1) 洗髪動作における自立度及びその問題点	1) シャワー等水栓金具の操作性 ①吐水・止水の操作性 ②誤操作の防止	1) 介助の必要性					
	2) 上肢機能(牽上動作、指先の巧緻性、手首、肘の関節の動き等)	2) シャワー等水栓金具の位置、高さ	2) 介護者への負担					
	3) 座位姿勢での動作における問題点(前傾姿勢での動作)	3) シャンプー等のボトルの扱いやすさ ①ボトルの扱いやすさ ②ボトルの収納場所						
11 いす等から立ち上がる	1) いす等からの立ち上がり行為における問題点	1) 浴用いすの形状 ①構造 ②大きさ・重量 ③つかまる場所 ④いすの高さ(立ち上がるに適切な高さであるか) ⑤座り心地 ⑥安全性 ⑦耐久性 ⑧価格 ⑨掃除のしやすさ ⑩収納場所	1) 介助の必要性	1) 立ち上がりに配慮した高さの浴用いすであるか				
	2) 立ち上がり動作 ①膝を引き、下肢にて踏み込む力 ②上肢にて上半身を補助的に持ち上げる力	2) 浴室環境 ①床材の状況 ②つかまる場所 ③いすから立ち上がる際、前傾姿勢をとるだけのスペースが確保できるか	2) 介護者への負担	2) 立ち上がり動作における困難性はその部分で発生しているのか				
12 浴槽に入る(またぐ)	1) 浴室での移動の安定性	1) 浴槽の状況 ①浴室床面から浴槽縁までの高さ ②浴槽内の深さ(浴槽内寸、浴槽床と浴槽底との高さの差異) ③浴槽縁の幅(浴槽エプロンの厚み) ④浴槽の形状(内寸、浴槽内の形状等) ⑤浴槽の素材(浴槽内及び浴槽底の形状・素材等) ⑥蛇口の位置 ⑦浴槽壁の状況	1) 介助の必要性	1) 片足動作における安定性に配慮しているか(立位保持及び片足での立位保持における安定性の評価)				

入浴動作	アセスメントポイント (視点)			利用者状態像別具体的チェック項目					
	利用者	居住構造等	介護	歩行自立	杖歩行	いざり	車いす 自立	要介助	
	2) 立位の安定性	2) 浴槽までのアプローチ (浴槽床及び浴槽周囲の状況等)	2) 介護者への負担	2 浴槽出入りに配慮した手すりの設置がなされているか (浴槽の外と中での動作に配慮した手すりの位置であるか)					
	3) 浴槽をまたぐ際の片足動作の安定性	3) 福祉用具導入による影響 ①扱いやすさ ②設置・除去が簡単に行なうことができるか ③大きさ・重量 ④構造 ⑤他の動作の妨げにならないか ⑥掃除のしやすさ ⑦安全性 ⑧耐久性 ⑨価格 ⑩改善により期待される効果 ⑪掃除・管理のしやすさ ⑫収納場所 ⑬緊急時への対応	3) 他家族への影響						
	4) 浴槽へ入る際の向き (健側及び利き手の確認)	4) 住環境改善による影響 ①他の動作の妨げにならないか ②改善により期待される効果							
13 浴槽内での座位保持	1) 浴槽内での座位の安定性	1) 浴槽内の構造 ①浴槽周囲につかまるところがあるか ②浴槽床の状況 (福祉用具導入時に安定を確保できるか) ③浴槽の内寸 (長さ、横幅、深さ)	1) 介助の必要性	1 浴槽内での姿勢保持の安定性を図る ①浴槽壁面に足が付き、姿勢保持ができる ②浴槽内での座位保持のため、つかまるところが適切な高さにある ③浴槽内での転倒防止	1 浴槽内での姿勢保持の安定性を図る ①浴槽壁面に足が付き、姿勢保持ができる ②浴槽内での座位保持のため、つかまるところが適切な高さにある ③浴槽内での転倒防止	1 浴槽内での姿勢保持の安定性を図る ①浴槽壁面に足が付き、姿勢保持ができる ②浴槽内での座位保持のため、つかまるところが適切な高さにある ③浴槽内での転倒防止	1 浴槽内での姿勢保持の安定性を図る ①浴槽壁面に足が付き、姿勢保持ができる ②浴槽内での座位保持のため、つかまるところが適切な高さにある ③浴槽内での転倒防止	1 浴槽内での姿勢保持の安定性を図る ①浴槽壁面に足が付き、姿勢保持ができる ②浴槽内での座位保持のため、つかまるところが適切な高さにある ③浴槽内での転倒防止	
	2) 浮力への抵抗 (浮力のかかる浴槽内で、バランスを保持することができるか)	2) 福祉用具導入による影響 ①扱いやすさ ②設置・除去が簡単に行なうことができるか ③大きさ・重量 ④構造 ⑤他の動作の妨げにならないか ⑥掃除のしやすさ ⑦安全性 ⑧耐久性 ⑨価格 ⑩改善により期待される効果 ⑪掃除・管理のしやすさ ⑫収納場所	2) 介護者への負担						2 介護者の負担への配慮
	3) 入浴スタイル ①入浴における好み ②これまでの入浴方法	3) 住環境改善による影響 ①他の動作の妨げにならないか ②改善により期待される効果	3) 他家族の使い勝手に対する影響						
14 浴槽から立ち上がる	1) 床面からの立ち上がり動作における問題点	1) 浴槽の状況 ①浴室床面から浴槽縁までの高さ ②浴槽内の深さ (浴槽内寸) ③浴槽縁の幅 (浴槽エプロンの厚み) ④浴槽の形状 (内寸、浴槽内の形状等) ⑤浴槽の素材 (浴槽内及び浴槽底の形状・素材) ⑥浴槽壁の状況	1) 介助の必要性	1					
	2) 身体機能 (握力、引き上げる力、膝の屈曲、踏み込む力等)	2) 福祉用具導入による影響 ①扱いやすさ ②設置・除去が簡単に行なうことができるか ③大きさ・重量 ④構造 ⑤他の動作の妨げにならないか ⑥掃除のしやすさ ⑦安全性 ⑧耐久性 ⑨価格 ⑩改善により期待される効果 ⑪掃除・管理のしやすさ ⑫収納場所	2) 介護者への負担						
		3) 住環境改善による影響 ①他の動作の妨げにならないか ②改善により期待される効果							

身体特性・空間別
入浴

アセスメントポイント (観点)		利用者状態像別具体的チェック項目				
入浴動作	利用者	居住構造等	介護	杖歩行	いざり	車いす
	11を参照					自立
15 浴槽から出る(またぐ)						
16 浴室から出る	4を参照					
17 身体を拭く	1) 上肢機能(巧緻性等)	1) 着替えスペースの保溫	1) 介助の必要性 2) 介護者への負担			
	2) 立位の安定性					
18 衣類の着脱衣(着衣)	2を参照					
19 居室までの移動	1を参照					

動作		利用状態像			屋内外互い寸使用				
車いす不要		車いすへの移乗及び車いす使用の可能性			車いすへの移乗及び車いす使用の可能性				
居室～玄関上がり框	① 歩行の安定性の向上	歩行を安定させる(伝い歩きへの補助)ための横手すり設置	1) 移動の動線に配慮した手すりの設置(連続した手すり、または手すり端部間が空きすぎないようにする) 2) 手すりを伝っての動作に配慮した手すりの高さ 3) 握りやすい手すりの太さ、滑りにくい素材、手触りの冷たくないもの 4) 往復の動作に配慮した設置になっているか 5) 手すり端部の処理(衣類の袖口等が引っかからないよう端部処理がなされているか)	① 出入り方法を検討する	車いすへの移乗及び車いす使用の可能性	1) 玄関までの移動方法 2) 玄関での車いすへの移乗 3) 介助スペースの確保 4) 天候による影響の検討	① 出入り方法を検討する	車いすへの移乗及び車いす使用の可能性	1) 玄関までの移動方法 2) 玄関での車いすへの移乗 3) 介助スペースの確保 4) 天候による影響の検討
	② 転倒防止	滑りにくい床材	1) 滑りにくい 2) つま先等が引っ掛かりにくいこと 3) ある程度の弾力性がある素材であること 4) 衝撃音を吸収する素材であること 5) 傷のつきにくい素材であること 6) 汚れが目立ちにくい色調	② 歩行の安定性の向上	歩行を安定させるための横手すり設置	1) 移動の動線に配慮した手すりの設置(連続した手すり、または手すり端部間が空きすぎないようにする) 2) 手すりを伝っての動作に配慮した手すりの高さ 3) 握りやすい手すりの太さ、滑りにくい素材、手触りの冷たくないもの 4) 往復の動作に配慮した設置になっているか 5) 手すり端部の処理(衣類の袖口等が引っかからないよう端部処理がなされているか)	② 車いすでの移動への配慮	車いすでの移動	1) 車いすでの移動可能な有効幅員が確保されている 2) 車いす操作に配慮したスペースが確保されている 3) 介助スペースが確保されている
	③ 明るさ	足元の明るさ	1) 足元の明るさが充分確保されているか 2) 夕刻、夜間等薄暗い時間帯への配慮	③ 転倒防止	滑りにくい床材	1) 滑りにくい 2) つま先等が引っ掛かりにくいこと 3) ある程度の弾力性がある素材であること 4) 衝撃音を吸収する素材であること 5) 傷のつきにくい素材であること 6) 汚れが目立ちにくい色調	③ 転倒防止	滑りにくい床材	1) 滑りにくい 2) つま先等が引っ掛かりにくいこと 3) ある程度の弾力性がある素材であること 4) 衝撃音を吸収する素材であること 5) 傷のつきにくい素材であること 6) 汚れが目立ちにくい色調 7) ある程度の重量に耐えうる強度が保持されていること
	④ 色彩	違いがわかりやすい色彩	1) 段差等において、段差の違いがわかりやすい色彩となっているか	④ 明るさ	足元の明るさ	1) 足元の明るさが充分確保されているか 2) 夕刻、夜間等薄暗い時間帯への配慮 3) スイッチパネルの操作性(消灯・点灯操作のしやすさ) 4) スイッチパネルの位置・高さ、場所がわかりやすい・見つけやすい	④ 明るさ	足元の明るさ	1) 足元の明るさが充分確保されているか 2) 夕刻、夜間等薄暗い時間帯への配慮 3) スイッチパネルの操作性(消灯・点灯操作のしやすさ) 4) スイッチパネルの位置・高さ、場所がわかりやすい・見つけやすい
	⑤ 介助スペース	介助スペースの確保	1) 要介護者の後方・側方からの介助スペースが十分に確保されているか	⑤ 色彩	違いがわかりやすい色彩	1) 段差等において、段差の違いがわかりやすい色彩となっているか	⑤ 色彩	違いがわかりやすい色彩	1) 段差等において、段差の違いがわかりやすい色彩となっているか
	⑥ 壁等	壁の仕上げ	1) 身体をこすっても傷つけない素材	⑥ 介助スペース	介助スペースの確保	1) 要介護者の後方・側方からの介助スペースが十分に確保されているか	⑥ 介助スペース	介助スペースの確保	1) 要介護者の後方・側方からの介助スペースが十分に確保されているか
上がり框	① 玄関上がり框の昇降	段差における動作性	1) 外へのアプローチの検討 2) 玄関上がり框を安全に入力できる方法の検討(現状動作の確認、及びそこで発生している問題点の検証) 3) 将来的な状態像の変化への見直し	① 玄関上がり框の昇降	段差における動作性	1) 外へのアプローチの検討 2) 玄関上がり框を安全に入力できる方法の検討(現状動作の確認、及びそこで発生している問題点の検証) 3) 将来的な状態像の変化への見直し	① 玄関上がり框の昇降	段差における動作性	1) 外へのアプローチの検討 2) 玄関上がり框を安全に入力できる方法の検討(現状動作の確認、及びそこで発生している問題点の検証) 3) 将来的な状態像の変化への見直し
	② 段差昇降	段差昇降動作の安定性の向上	1) 手すりの長さ(段差の高低差に合わせ、十分な長さのある手すりの設置) 2) 握りやすい手すりの太さ、滑りにくい素材、触った時に冷たくないもの	② 段差昇降	段差昇降動作の安定性の向上	1) 手すりの長さ(段差の高低差に合わせ、十分な長さのある手すりの設置) 2) 握りやすい手すりの太さ、滑りにくい素材、触った時に冷たくないもの	② 段差昇降	段差昇降動作の安定性の向上	1) 手すりの長さ(段差の高低差に合わせ、十分な長さのある手すりの設置) 2) 握りやすい手すりの太さ、滑りにくい素材、触った時に冷たくないもの
		玄関土間(たたき)部分のかさ上げ	1) 玄関外との段差の発生に配慮する 2) 他家族の利用に配慮する	玄関土間(たたき)部分のかさ上げ	1) 玄関外との段差の発生に配慮する 2) 他家族の利用に配慮する		玄関土間(たたき)部分のかさ上げ	1) 玄関外との段差の発生に配慮する 2) 他家族の利用に配慮する	
	③ 動作性に配慮した手すり等の検討	手すり設置	1) 昇降動作における安定性(段差昇降動作における安定性・安全性の詳細) 2) 手すり等つかまるところが確保されているか(家具等代用となるものがあるか) 3) 手すりの使い勝手(必要箇所、必要本数、家具等での代用の可能性) 4) 手すり素材(握りやすさ、玄関の雰囲気や損傷の少ない手すりの設置、手触り、冷たくない、滑りにくいこと等)	スロープの設置	1) 可動式スロープ ① 勾配(車いすにて昇降可能な勾配であるか) ② 段差解消のため必要とされる適切な長さ ③ 使い勝手 ④ 耐久性 ⑤ 設置・取り外しの簡便性 ⑥ 重量 ⑦ 収納場所 ⑧ 居住環境との関係 ⑨ 介護者への配慮 ⑩ 他家族の使い勝手への配慮 2) スロープ ① 勾配 ② 車いす操作のためのスペースの確保 ③ 段差解消のため必要とされる距離の確保 ④ 居住構造との関係 ⑤ 天候不良時への配慮 ⑥ 他家族の使い勝手への配慮	スロープの設置	1) 可動式スロープ ① 勾配(車いすにて昇降可能な勾配であるか) ② 段差解消のため必要とされる適切な長さ ③ 使い勝手 ④ 耐久性 ⑤ 設置・取り外しの簡便性 ⑥ 重量 ⑦ 収納場所 ⑧ 居住環境との関係 ⑨ 介護者への配慮 ⑩ 他家族の使い勝手への配慮 2) スロープ ① 勾配 ② 車いす操作のためのスペースの確保 ③ 段差解消のため必要とされる距離の確保 ④ 居住構造との関係 ⑤ 天候不良時への配慮 ⑥ 他家族の使い勝手への配慮		

利用者状態像		車いす不変		屋外のみ車いす使用		屋内外車いす使用		
動作	④ 昇降動作の安定性向上	式台の設置	1) 段差を小さく分轄し、安全に昇降できるようにする 2) 動線に配慮した式台の設置 4) 式台上での動作への配慮(式台の奥行き、幅につき、動作性に配慮し、検討する)	段差昇降機の使用	1) 設置場所、設置環境の検討、防犯対策 2) 操作性の検討(簡単に操作することができるか) 3) 機器性能、構造、駆動方法、形状、寸法 4) 設置場所周辺のスペース 5) 乗降のしやすさ 6) 安全性(転落防止、誤動作の防止)	段差昇降機の使用	1) 設置場所、設置環境の検討、防犯対策 2) 操作性の検討(簡単に操作することができるか) 3) 機器性能、構造、駆動方法、形状、寸法 4) 設置場所周辺のスペース 5) 乗降のしやすさ 6) 安全性(転落防止、誤動作の防止)	
	③ 昇降動作の安定性向上	式台の設置	1) 段差を小さく分轄し、安全に昇降できるようにする 2) 動線に配慮した式台の設置 3) 式台上での動作への配慮(式台の奥行き、幅につき、動作性に配慮し、検討する)	式台の設置	1) 段差を小さく分轄し、安全に昇降できるようにする 2) 動線に配慮した式台の設置 3) 式台上での動作への配慮(式台の奥行き、幅につき、動作性に配慮し、検討する)	式台の設置	1) 段差を小さく分轄し、安全に昇降できるようにする 2) 動線に配慮した式台の設置 3) 式台上での動作への配慮(式台の奥行き、幅につき、動作性に配慮し、検討する)	
靴を履く・脱ぐ	① 靴を脱ぐ(履く)	靴の着脱動作	1) 現状における靴の着脱動作における問題点 2) 立位保持の安定性 3) 片足動作の安定性 4) 前屈動作の困難性 5) 介護者への配慮	靴の着脱動作	1) 現状における靴の着脱動作における問題点 2) 立位保持の安定性 3) 片足動作の安定性 4) 前屈動作の困難性 5) 介護者への配慮	靴の着脱動作	1) 現状における靴の着脱動作における問題点 2) 立位保持の安定性 3) 片足動作の安定性 4) 前屈動作の困難性 5) 介護者への配慮	
		ベンチの設置	1) 立位及び靴脱着動作における安定性 2) ベンチ設置の目的とその使用方法に関する検討 3) ベンチを使用する際の動作性の確認(周囲に十分なスペースが確保されているか) 4) ベンチを置くスペースの確保 5) ベンチ座面の高さ 6) いすからの立ち上がり 7) 玄関使い勝手への影響	ベンチの設置	1) 立位及び靴脱着動作における安定性 2) ベンチ設置の目的とその使用方法に関する検討 3) ベンチを使用する際の動作性の確認 4) ベンチを置くスペースの確保(周囲に十分なスペースが確保されているか) 5) ベンチ座面の高さ 6) いすからの立ち上がり 7) 玄関使い勝手への影響	ベンチの設置	1) 立位及び靴脱着動作における安定性 2) ベンチ設置の目的とその使用方法に関する検討 3) ベンチを使用する際の動作性の確認 4) ベンチを置くスペースの確保(周囲に十分なスペースが確保されているか) 5) ベンチ座面の高さ 6) いすからの立ち上がり 7) 玄関使い勝手への影響	
		靴	1) 脱ぎ着のしやすいものであるか 2) 滑りにくいものであるか 3) 歩きやすいものであるか 4) 軽量のものであるか	靴	1) 脱ぎ着のしやすいものであるか 2) 滑りにくいものであるか 3) 歩きやすいものであるか 4) 軽量のものであるか	靴	1) 脱ぎ着のしやすいものであるか 2) 滑りにくいものであるか 3) 歩きやすいものであるか 4) 軽量のものであるか	
玄関たたき	① 移動	手すりの設置	1) 玄関内での移動状況の確認 2) 必要性の評価	手すりの設置	1) 玄関内での移動状況の確認 2) 必要性の評価	手すりの設置	1) 玄関内での移動状況の確認 2) 必要性の評価	
		床材	1) 滑りにくい素材 2) つま先等が引っ掛かりにくいこと 3) 汚れが目立ちにくい色調	床材	1) 滑りにくい素材 2) つま先等が引っ掛かりにくいこと 3) 汚れが目立ちにくい色調	床材	1) 滑りにくい素材 2) つま先等が引っ掛かりにくいこと 3) 汚れが目立ちにくい色調	
		② 動作スペース	移動	1) 移動を妨害する状況が見られないか 2) 移動しやすいよう整理整頓されているか	移動	1) 移動を妨害する状況が見られないか 2) 移動しやすいよう整理整頓されているか	移動	1) 移動を妨害する状況が見られないか 2) 移動しやすいよう整理整頓されているか
		介助スペースの確保	1) 介助を必要とする場面において十分に対応可能なスペースが確保されていること	介助スペースの確保	1) 介助を必要とする場面において十分に対応可能なスペースが確保されていること	介助スペースの確保	1) 介助を必要とする場面において十分に対応可能なスペースが確保されていること	
収納スペース	1) 日常的に使用する靴、その他外出時に必要とする福祉用具の収納場所(取り出しやすい場所に置かれているか)	収納スペース	1) 日常的に使用する靴、その他外出時に必要とする福祉用具の収納場所(取り出しやすい場所に置かれているか) 2) 車いすの収納スペースの確保	収納スペース	1) 日常的に使用する靴、その他外出時に必要とする福祉用具の収納場所(取り出しやすい場所に置かれているか) 2) 車いすの収納スペースの確保			
玄関扉	① 玄関扉の開閉	開閉動作のしやすさ	1) 扉開閉方法(扉開閉のためのドアノブの形状) 2) 開閉有効幅員 3) 扉重量 4) 施錠・開錠がしやすいもの、カギの位置・高さ 5) 防犯性の高いもの	開閉動作のしやすさ	1) 扉開閉方法(扉開閉のためのドアノブの形状) 2) 開閉有効幅員 3) 扉重量 4) 施錠・開錠がしやすいもの、カギの位置・高さ 5) 防犯性の高いもの	開閉動作のしやすさ	1) 扉開閉方法(扉開閉のためのドアノブの形状) 2) 開閉有効幅員 3) 扉重量 4) 施錠・開錠がしやすいもの、カギの位置・高さ 5) 防犯性の高いもの	
② 玄関扉下枠部分の段差		段差解消	1) 扉下枠部分における段差状況 2) 玄関出入りに関する問題状況の確認 3) 玄関外との状況 4) 玄関段差を安全に乗り越える方法の検討 5) 明るさ 6) 地域特性(居住地域の気候等)	段差解消	1) 扉下枠部分における段差状況 2) 玄関出入りに関する問題状況の確認 3) 玄関外との状況 4) 玄関段差を安全に乗り越える方法の検討(車いすにて出入り可能であるか) 5) 明るさ 6) 地域特性(居住地域の気候等)	段差解消	1) 扉下枠部分における段差状況 2) 玄関出入りに関する問題状況の確認 3) 玄関外との状況 4) 玄関段差を安全に乗り越える方法の検討(車いすにて出入り可能であるか) 5) 明るさ 6) 地域特性(居住地域の気候等)	